

# 2.5倍にスペース拡大

## アウトドア展「TOS」



「ジープ」と共同出展したエイアンドエフ

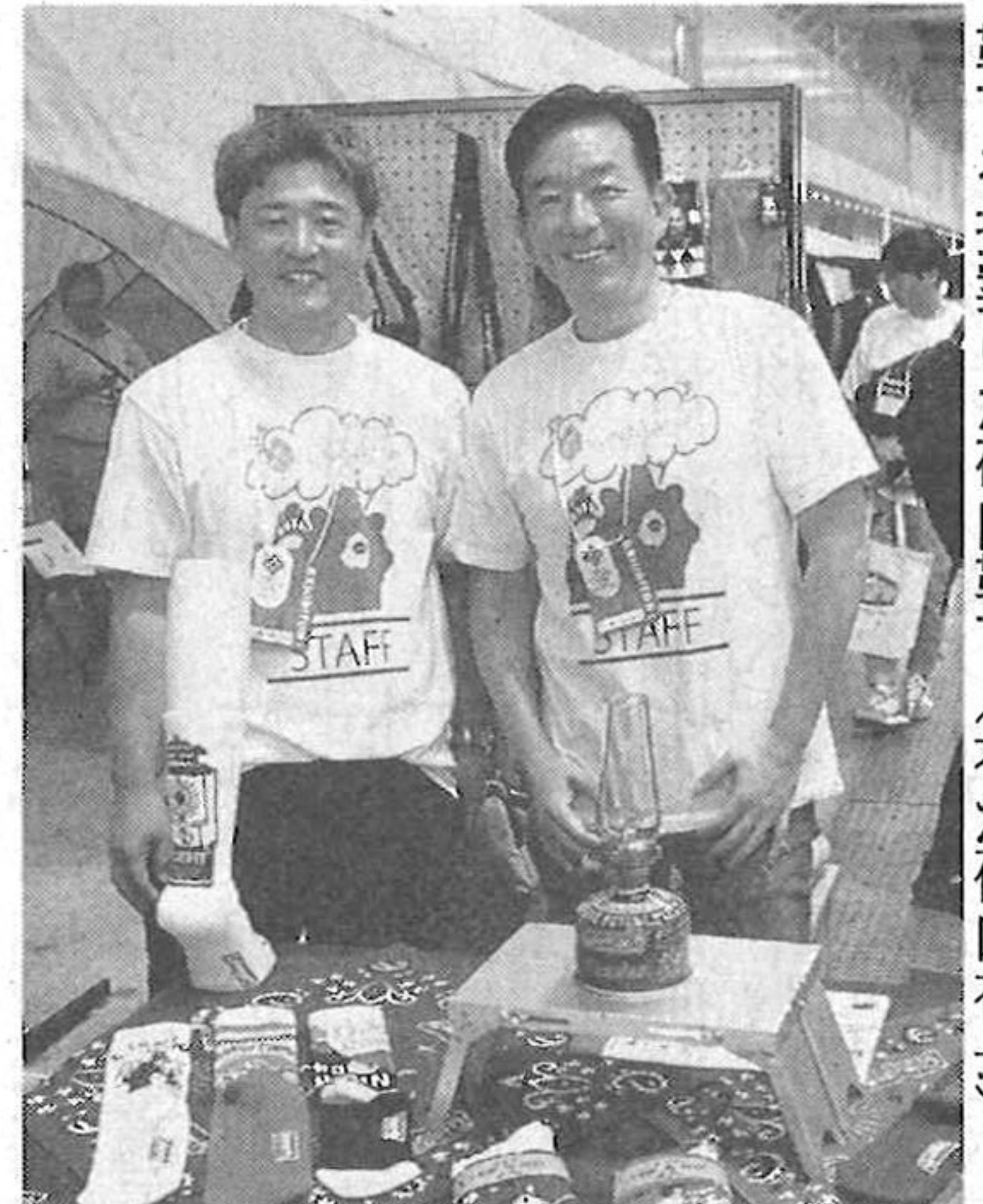
### 車と共同展示も

アウトドアカルチャーを発信する合同展「トーキョーアウトドアショー2024」(TOS、企画制作は三栄)が6月28〜30日、千葉・幕張メッセで開かれた。キャンプ用品メーカーなど約200の企業・団体が出展(前回は114のブランド・団体)。自動車メーカーとアウトドアブランドによる共同展示など、ジャンルを超えた提案が目立った。(杉江潤平)

23年に開催した前回展は、カスタムカーの展示会「東京オートサロン」との併催だったため、スペースに制約があり、「多くの出展者はキャンセル待ち」(TOSの企画制作に関わった、雑誌『ゴアアウト』プロデューサーの竹下充さん)という状況だったが、TOSの単独開催となった今回は会場スペースを2.5倍に広げ、出展の要望に応えた。

今回の大きな特色は、アウトドアと親和性の高いSUUV(スポーツ用多目的車)が会場内に数多く置かれていたこと。三栄側が自

キャンプギアとセットに「コールマン」の靴下を提案した砂山靴下(右が砂山社長)



した。

動車メーカーとアウトドアメーカーをコーディネートし、ブースを共同で作り上げ、それぞれのファンを招き入れ、互いの製品に関心を持ってもらう工夫を凝ら

ルフを開発。今秋冬に予定している同車種の一般販売に向け、会場内で来場者の感触を確認していた。

米国ブランドの取り扱いが多いエイアンドエフは、

トヨタ自動車の高級車ブランド「レクサス」と組んだスノーピークは、「GX550」(オーバートレイル仕様)のラゲージにぴったりと設置できるシェ

同じ米国発祥の「ジープ」と共同出展。キャンプギア、自転車などエイアンドエフが手掛ける幅広い製品に合う車種を見せた。

自動車や自社製品だけでなく、ライセンス製品も含めてブースを作ったのは「コールマン」だ。ライセンスシーの一つ、砂山靴下(東京、砂山直樹社長)は、ランタンのシルエツトがプリントされたファスナー付きの袋にカラフルな柄の靴下を入れて訴求。袋自体は、アウトドアシーンで二次利用できる。